

将来像及び活性化の方向性のイメージ

将来像（50年後など中長期のイメージ）

●住民が自らの住む地域の歴史と文化をよく理解し愛着や誇りをもって暮らすとともに、地域外の人々が西陣の魅力に憧れ、訪れたい、住みたいと思われるまち

●京町家等の和の建物・空間等での日々の暮らしの中に和の文化が色濃くあり、地域住民が生活に根付いた文化を体現し、世代を超えて継承しているまち

方向性の例

- 生活文化や歴史の掘起こしと再認識、次世代への継承
- 生活文化・伝統文化を体験できる環境づくり

具体例 文化を体験できる機会の増加
西陣の文化・魅力の効果的な情報発信 など

●京町家や路地空間が継承され、子どもを育むなどの生活の場として活用されるとともに、落ち着いた町並み、景観が形成されるまち

●歩くこと、公共交通を利用することを中心にしたまち

方向性の例

- 歴史と文化に培われた京町家の保全、活用、継承
- 京町家や路地空間を活かした京都らしい住まい方の継承
- 町並み保全と防災性確保の両立
- 使いやすさを目指した公共交通の充実
- 歩行者優先のまちづくり

具体例 京町家や路地を子育て等の場所として活用、防災まちづくりの推進
バスや鉄道等によるアクセスの向上 など

●職住近接の歴史を守りながら、クリエイティブなものづくり、個性あふれる店舗などの生業が地域の中で営まれ、多様なコミュニティのあるまち

●住民にも住みよく、観光客にも満足度の高い「ほんもの」の観光ができるまち

方向性の例

- 西陣織の新たな取組の推進
- 人、アイデア、異分野が融合する環境の整備
- 地域コミュニティとしてふれあいを大切にす商業の振興
- 環境にやさしい歩く観光の推進
- 「ほんもの」と触れ合う観光の推進

具体例 西陣織の技術と新たなアイデアが結び付いた製品開発
住む人と働く人、異分野の人など、多様な人が交流する場づくり
文化体験やものづくり体験の充実 など

ポテンシャル・キーワード

歴史（京都の、日本の中心）

- 平安時代から続く1200年の歴史があり、長く政治の中心
- 応仁の乱の「西陣」から550年の歴史

伝統文化

- 茶道(三千家)、能・狂言など伝統文化が継承

生活に根付いた文化

- 食文化、年中行事、地蔵盆などが生活に根付く
- 上京区の地蔵盆実施率が高い(88.7%:2位)
- 生活に根付いた文化の継承が望まれている。

職住近接の伝統産業・職人文化

- 西陣織は、職住近接として栄えてきた。
- 製造業従事者で職住一致は、減少が進んでいるが、上京区が1位
- 西陣織に携わる職人により、繁華街の賑わい、パン・井など職人文化が生まれた。

新たなものづくりの可能性

- シェアオフィスやコワーキングスペース等の増加
- ものづくり、職人のまちへの期待
- 事業者間のつながり強化による創造の可能性

京町家、路地、町並み、文化財等

- 生活の中から生み出された、趣のある町並みの景観を形成(旧市街地型美観地区)
- 上京区の京町家数は1位(8,521件)
- 上京区の文化財数が345件(4位)と多く、文化財の密度も高い(2位)
- 密集市街地等で防災まちづくりが進展

知られていない地域資源

- 有名な観光スポット以外にも、多彩な地域資源があり、回遊して観光できるエリア

地域コミュニティ、高い定住意向

- 学区・町内の地域活動が盛ん
- 75%の住民が暮らし続けたいと回答
- 少子高齢化が進む中で地域の担い手の確保が求められている。

多くの学生、新住民

- 上京区に居住する大学生年代の割合が1位(10.7%)
- 新住民(居住期間10年未満)が4割以上

自転車で移動できるコンパクトな地域

- 自転車で移動するには便利なまち
- エリア西部などで交通利便性が望まれている。